



中一小だより

未来を拓く力を育むために

校長 菊地 恵美子

暖かい日が続き、春の到来が感じられるようになりました。体育館の改修工事も順調に進み、3月23日の卒業式を新しい体育館で挙行できますことに安堵しているところです。

今、子供たちは卒業、進級に向けて、学年のまとめをしっかりと行っています。「6年生を送る会」は、今年度も全員が集まっての開催はできませんが、1～5年生がそれぞれ、お世話になった6年生への思いを込めて、趣向を凝らした演奏やダンスなどを動画に撮ってプレゼントします。6年生も、卒業に向けて「中一マイルプロジェクト◎」を企画し、校舎内外の清掃や整備、下級生との交流など、「感謝の気持ちを伝えたい」と、はりきって活動しています。コロナ禍で制限された中での学校生活でしたが、最高学年として、委員会活動やクラブ活動で下級生をリードしたり、低学年の面倒をよくみたり、学校行事を盛り上げたりしてくれました。そのことに自信をもって、中一小を巣立って行ってほしいと願っています。

さて、今年度は、本校の子供たちの課題である「適切な言葉で伝えあう力」や「情報を整理する力」、「根拠を明確にし筋道を立てて表現する力」等を育むために、国語科で身に付けた言語能力を活用しながら、様々な教科の中で子供たちの思考力・判断力・表現力等を育成する学習を行ってきました。学習の効果を高めるために、私たち教師も指導法を学ぶ必要があるため、自主研修会を開いて研修に励んできました。地域社会と連携・協働しながら学校教育の質の向上を図る「カリキュラム・マネジメント」や、答えのない問いに対して新たな発想で解決していくための「STEAM教育」、議論することを通して多面的・多角的に考えるための「道徳の授業づくり」、個別最適な学びと協働的な学びの往還を図るための「効果的なICTの活用法」などです。これらの教師の学びを子供たちの指導に生かした結果、相手を意識しながら、伝えたいことを順序を考えて表現したり、理由を明確にして伝えたりすることができる子が増えてきました。また、各学年の実態に合ったICT活用が増え、表現の仕方も多種多様になってきました。私たちの学びが子供たちの成果に表われることは、教師にとって大変嬉しいことです。しかしながら、まだ、考えを伝えることに自信がもてなかったり、困り感を抱いていたりする子も存在するので、語彙を増やしたり、文章を組み立てる力を育てたりしながら、これからも様々な教科や学校生活全般において伝え合う場面を多く設定し、思考力・判断力・表現力等の資質・能力を育成してまいります。

最後になりましたが、保護者の皆様、地域の皆様方には一年間、本校教育へのご理解・ご協力により、子供たちの学びを支えていただき、ありがとうございました。心から感謝申し上げます。

3月行事予定

- 7日(火)：5時間授業～10日
- 17日(金)：卒業式予行
- 22日(月)：卒業式準備
1～6年、6年5時間授業
- 23日(木)：卒業式 11：30下校
- 24日(金)：終了式 11：30下校

4月行事予定

- 6日(木)：着任式・始業式 11：30下校
- 7日(金)：入学式 11：30下校
- 10日(月)：給食開始
- 16日(日)：授業参観、お弁当
- 18日(火)：**弁当の日**
- 21日(金)：振替休業日